

# クロム活用シート

## 4年 算数科

1. 単元名『小数』
2. 本時の評価規準  
1.515を0.001が1515個集まった数とみるなど、数の相対的な大きさから、小数をとらえ、どちらの小数が大きいかを説明することができる。【知識及び技能】
3. 指導計画

	学習活動	ICT活用場面
導入	・前時の学習をふり返り、本時の課題をつかむ。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えが持てない児童には、chromebookでヒントカード（位取り表）を用意し、それを基に考えさせる。</li> <li>・オクリンクを使い、考えた方法を色を分けて提出させ、自分と同じ考えの人とちがう考えの人が一目でわかるようにして、マイスタ学習をする際の手助けとする。</li> <li>・児童の多様な考えを電子黒板に映し、共通点や課題解決のポイントについて全体で交流する。</li> </ul>	<p><b>BI</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクでヒントカードを送る。</li> </ul> <p><b>CI</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクで誰がどの考え方をしていのかを参考にマイスタ学習の手助けとする。</li> <li>・電子黒板に児童の考えを提示する。</li> </ul>
終末	・本時で学んだことや学び方をふり返らせることで、自己の変容や主体的な学びの自覚化を促す。	・スプレッドシートで視点を持った振り返りを行う。

### 4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

I	知識及び技能	2	問題解決・探究における情報活用の方法の理解
		①	情報収集、整理、分析、表現、発信の理解
		C	共通と相違、順序などの情報と情報との関係

### BI 個に応じる学習

使用するアプリ等 「オクリンク」

	活用の流れ
①	オクリンクでヒントカード（位取り表）を送り、考えを持たせるための手立てとする。



### CI 発表や話し合い

使用するアプリ等 「オクリンク」「スプレッドシート」

	活用の流れ
①	自分が考えた方法を提出する。（①位→赤②何が何個分→青③その他→緑）
②	友達の考え方をもとに交流する相手を決める。
③	電子黒板に児童の考えを提示し、全体交流で考えを広げる。
④	スプレッドシートで本時の学びや学び方をふり返る。



### 活用の効果

マイスタ学習をする際に、①考えが持てない→同じ考えの人に聞きに行こう。②考えが持てた→同じ考えの人に確かめに行こう③考えが持てた→ちがう考えの人から聞いて考えを広げよう。など、個別最適な学習を行う際に、オクリンクと電子黒板の提示は効果的であった。